

公立病院経営強化プランについて

医療機関名

厚沢部町国民健康保険病院

タイトル

厚沢部町国民健康保険病院経営強化プランについて

(経営強化プランの期間)

令和5年度～令和9年度

(策定年月)

令和6年3月

【内 容】

(1) 役割・機能の最適化と連携の強化

国保病院は町内唯一の病院として、救急患者の受け入れを行っており、住民が安心して暮らせる医療体制を今後も維持継続していく。

地域ケアシステム会議において、医療、介護、入退院等の課題検証や改善策の協議を行ない、二次三次医療圏との連携、地域連携部署等の強化を図る。

また、救急医療体制を堅持する一方で、地域のニーズに応じた訪問診療等の強化を図り、在宅療養が困難な患者の入院の受入など、在宅医療、介護保険サービスとの連携を図る。

(2) 医師・看護師等の確保と働き方改革

患者サービスが低下することのないよう関係機関と連携し情報収集するなど、医師確保に努めるとともに、安定した診療体制の確保に努める。

また、安定した医療提供体制を確保するため、新卒看護職員の確保や将来の地域医療を担う医療従事者の確保のため、修学資金の貸付、中学生の職場体験実習、研修機会の充実等、積極的な人材確保を行い、看護師ほか必要な医療スタッフの確保に努める。

働き方改革は、常勤医師の確保とともに、労務管理の徹底、タスク・シフティング、タスク・シェアリングについて検討し、負担軽減を図る。

(3) 経営形態の見直し

現在有する医療資源を活用しながら、地域の拠点病院である道立江差病院の急性期医療を確保しつつ、将来的には当院が町内唯一の医療機関として地域包括ケアの拠点としての機能を担えるよう取り進める。経営形態の見直しについては、本計画の進捗状況や当院を取り巻く医療環境の動向を見極めながら、院内、及び役場庁舎内の十分な議論のもと、住民の意見も尊重しながら慎重に検討を進めて行く。

(4) 新興感染症の感染拡大時等に備えた平時からの取組

新興感染症などの発生後に速やかな対応ができるよう、新型コロナウイルス感染症の対応の際に整備を図った、院内感染マニュアルに沿って対応する。

感染防護具などの備蓄、院内感染対策の徹底などに継続的に取り組み、限られた医療資源を最大限に活用しながら、感染拡大防止に努める。

(5) 施設・設備の最適化

計画的な施設・設備の更新を行うことで維持管理費、修繕費を平準化し、建物に係るトータルコストの縮減を図る。

デジタル化への対応として、今後も医療の質の向上、医療情報の連携、働き方改革の推進と病院経営の効率化を推進するためにも、遠隔診療、音声入力、その他各種情報システム等の活用の検討を行う。

(6) 経営の効率化等

救急医療などの不採算部門の医療を担う必要性から厳しい経営環境に置かれているが、医療提供体制を確保しながら収支の均衡を図るため、次の項目を実施していくこととし、効率的な病院運営の推進を目標とする。

- ・収入増加・受診者の確保対策
- ・人件費の適正化
- ・診療材料費等経費の削減
- ・委託業務の適正化